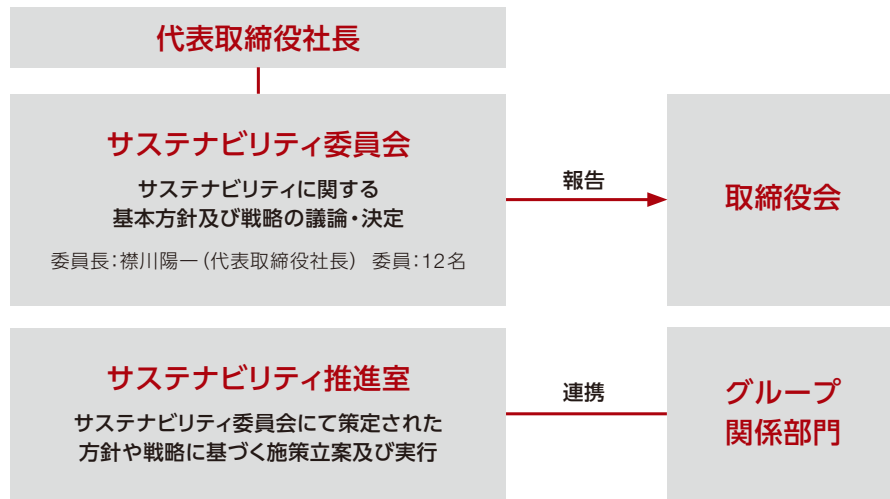


コーエーテックモの精神「創造と貢献」、コーポレートスローガン「Level up your happiness」のもと、「心の豊かさ」と「幸せ」に寄与貢献することを目指しています。ビジョンである「世界No.1のデジタルエンタテインメントカンパニー」を目指すためには、「人材」が持続的に成長し、人をワクワクさせるゲームを作り出すことが重要であると考え、「人」を中心としたサステナビリティを推進することで企業価値の向上を図り、持続可能な社会を目指していきます。

### サステナビリティ推進体制

当社グループは、サステナビリティへの取り組みを強化するため、2023年10月に当社代表取締役社長のもとにサステナビリティ委員会を設置し、経営企画部内にサステナビリティ活動を推進するサステナビリティ推進室を設置しました。

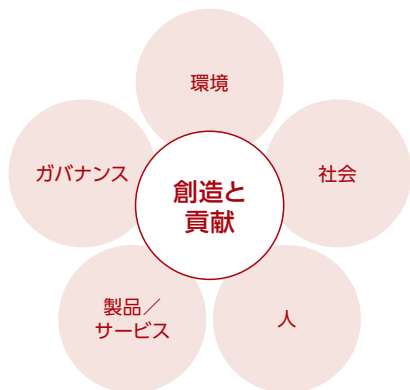


### サステナビリティ委員会

2023年10月に発足したサステナビリティ委員会は、2023年度中に3回開催しました。

委員長	襟川陽一（代表取締役社長）
委員	CSuO、管理本部長・副本部長、執行役員、人事部長 コーエーテックモゲームス：取締役副社長、マーケティング本部長、IP事業部長、エンタテインメント制作本部長／コーエーテックモウェブ：代表取締役社長／コーエーテックモネット：常務取締役／コーエーテックモオリアシアランス：代表取締役社長
事務局	サステナビリティ推進室、経営企画部

開催	サステナビリティ委員会における主な議論内容
第1回 (2023年11月27日)	・サステナビリティ委員会の目的・役割 ・マテリアリティに関する報告
第2回 (2024年1月22日)	・人的資本関連の指標・目標に関する審議・意見交換 ・温室効果ガスScope3排出量の集計に関する意見交換
第3回 (2024年3月18日)	・中長期的なロードマップに関する審議・意見交換 ・人的資本関連の方針・ガバナンス等に関する意見交換 ・マテリアリティに関する審議・意見交換 ・TCFD開示に関する報告 ・温室効果ガスScope3排出量の集計に関する報告



### マテリアリティ (重要課題) の設定

取り組みにあたり5つのマテリアリティを設定し、それぞれ推進していくことで、持続可能な社会の実現に貢献し、企業価値の向上を図ります。

現在のマテリアリティについての詳細の説明は、こちらをご覧ください。 → <https://www.koeitecmo.co.jp/sustainability/materiality/>

### マテリアリティの見直し (2024年度)

マテリアリティの重要性が高まる中、ステークホルダーの視点と、企業へのインパクトの視点の双方を考慮し、現在マテリアリティの見直しを行っています。

## サステナビリティで中核となるのは「人」。組織的な推進体制を確立し、持続的な企業価値向上に取り組みます

取締役 常務執行役員CSuO 襟川 芽衣

### 2023年度は“サステナビリティ元年”

2023年度、当社はサステナビリティ委員会、サステナビリティ推進室を新設し、私もCSuO (Chief Sustainability Officer) を拝命しました。サステナビリティ委員会は、社長の襟川陽一を委員長として、グループの事業部門と管理部門の責任者が委員となり、目指すべき方向性や戦略を議論し、決定を行っています。また、サステナビリティ推進室は全社横断的に推進していくための実行部隊として、事業部門と連携して、委員会で策定した方針に基づき施策を進めています。

これまで、サステナビリティ推進の必要性は感じていたものの、誰がどのように進めるかが不明瞭でした。本格的な推進体制がスタートしたことで、責任と役割を明確化できたのは大きな進歩です。事業部門のメンバーも一緒になって進めていくことで「自分ゴト化」して取り組めるようになり始めたと感じています。

### 社員の持つ力を最大限生かすことが持続的な成長につながる

「企業は人なり」という言葉が示すように、コーエーテックモグループにとって最も重要な資産は「人」です。ゲームの企画から開発、販売に至るまで、あらゆる段階で「人」が重要な役割を果たしています。当社がビジョンとして掲げる「世界No.1のデジタルエンタテインメントカンパニー」を実現するためには、人的資本の強化が不可欠であり、今後も人材の質と量を

高めていくことに注力し、持続的な成長を目指していきます。

### 人材育成とエンゲージメント向上

人材育成においては、「面白いゲームを作る」ためのスキルアップのみならず、「いかに利益を出すか」という企業の成長性と収益性を実現するビジネススキルの獲得にも力を入れています。これにより社員一人ひとりが成長を遂げ、企業の発展に貢献することを目指します。

また、より良い組織へ改善していくために、2023年度からエンゲージメントサーベイを行い、エンゲージメント向上に向けた取り組みを始めました。働きがいのある会社にするためには、オフィス環境の整備といった施設面の改善に加え、仕事の意義を理解し、自分の成長を実感できるような内面の変化が生まれる環境にしていくことも必要になります。だからこそ、日々仕事を淡々とこなすような働き方よりも、仕事を楽しいと感じられる働き方ができるようにしていきたいと思えます。毎日「会社に行きたくない」と思って仕事に向き合うのではなく、「今日もがんばるぞ」と前向きな気持ちで働くことでエンゲージメントが高まり、より面白いゲーム作りができると考えているからです。

### 今後はマテリアリティ特定の見直しとダイバーシティ推進に取り組みます

2024年度は企業価値の向上につながるべく、マテリアリティ



特定の見直しに着手します。コーエーテックモグループの事業戦略と課題やリスク管理を連携させ、中長期的に企業価値を高めるための取り組みを定めます。さらに、女性活躍等のダイバーシティに向けた取り組みをはじめ、従業員の皆さんが安心して働ける環境作りに向けて、中長期的なロードマップを策定して推進します。

これからもコーエーテックモグループは、持続的な成長を追求するため、サステナビリティ活動に取り組み、社会・人々と共に歩んでいきます。